政治史Ⅰ

科目ナンバリング　POL-103
選択　　2単位

天日　隆彦

1. 授業の概要（ねらい）
近代日本における政治権力の生成と発展の過程をたどり、その特質を学ぶ。
近現代史の基礎知識を修得するとともに、歴史問題についてバランスのとれた判断力を身につける。

2. 授業の到達目標
①明治憲法体制下において、政治の担い手がどのように変化していったかを説明できる。
②なぜ日米開戦に至ったかについて説明できる。

3. 成績評価の方法および基準
授業最終日に行うテスト80%、授業態度（宿題、授業中のペーパー提出を含む）20%

4. 教科書・参考文献
教科書
北岡伸一　『日本政治史』　（有斐閣）
参考文献
坂野潤治　『日本近代史』　ちくま新書

5. 準備学修の内容
授業のポイントが理解できるよう宿題（主として選択・穴埋め式問題）を出すので、必ず提出すること。

6. その他履修上の注意事項
歴史の大きな流れをつかむことに重点を置く。
授業中の私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁する。

7. 授業内容
【第1回】　自己紹介、授業方法、成績評価についての説明
幕藩体制の崩壊、西洋の衝撃への日本の対応について学ぶ
【第2回】　明治初期の国家建設の歩みについて学ぶ
【第3回】　自由民権運動から明治憲法体制の成立、議会政治の定着について学ぶ
【第4回】　日清・日露戦争について学ぶ
【第5回】　韓国併合から第一次世界大戦までの日本外交について学ぶ
【第6回】　日露戦争後の政党政治の発展について学ぶ
【第7回】　国際協調と政党内閣について学ぶ
【第8回】　これまでの授業についてのまとめと復習、提出物のフィードバック
【第9回】　社会主義と無産政党について学ぶ
【第10回】　満州事変前後の日本外交について学ぶ
【第11回】　天皇機関説事件と二・二六事件について学ぶ
【第12回】　日中戦争について学ぶ
【第13回】　日米開戦への道について学ぶ
【第14回】　これまでの授業についてのまとめと復習、提出物のフィードバック
【第15回】　全体のまとめとテスト